

報道関係各位

2010年 9月 15日

**超スゴイ!** 最大速度 22km/h <sup>スピード</sup> **高速!** 最高約 85cm の <sup>ジャンプ</sup> **飛躍!** 竜巻のような <sup>スピン</sup> **回転走行!**

高性能ラジオコントロールカー 『ギガテン』 10月2日 新発売!

～ 周波数 2.4 <sup>ギガヘルツ</sup> GHz 操縦可能距離約 10m 同時走行 10 台の エンターテインメントイ! ～

株式会社タカラトミー

株式会社タカラトミー(代表取締役社長: 富山幹太郎/東京都葛飾区)は、超小型軽量ボディにより、高速走行・ハイジャンプ・バックフリップ・高速らせん走行など、迫力の縦横無尽なアクロバティック走行が楽しめる、手のひらサイズの室内専用高性能ラジオコントロール(R/C)バギーカー『ギガテンバギーレーシングタイプ』(初回4色展開/5,229円<税込>)を、2010年10月2日より、全国の玩具専門店、百貨店・量販店の玩具売場にて発売いたします。

『ギガテン バギーレーシングタイプ』(以下:ギガテン)は、車両全長約10cm(約1/32スケール)、重量約42gの“超小型軽量ボディ”の実現により、最高時速22km(スケールスピード770km/h)の高速走行、ジャンプ台<sup>1</sup>を利用しての最高到達点約85cmの「ハイジャンプ」、「バックフリップ」、「リバースフリップ」などのアクロバティック走行、また、パイプやバケツなどの筒の中を高速でらせん状に走行する「トルネード・ドライブ」など、迫力の縦横無尽な「超」パフォーマンスが手軽に体験できる室内専用高性能 R/C バギーカー<sup>2</sup>です。電波の送受信周波数は2.4GHz(ギガヘルツ)で、到達距離は約10mと幅広く、ペアリングにより最大10台まで同時に走行することができます。充電電池を搭載しており、専用の充電器を使用して、約20分間のフル充電で約10分の走行が可能です。専用のスロットル式コントローラーで、前進・後退、左右に操作することができ、操作はデジタルプロポーション(前進のみ)<sup>3</sup>なので、細やかな加速・減速のスピード調整が可能です。コントローラーのスロットルトリガーを引くと「前進」、押すと「後退」し、ステアリングホイールを左に回すと前輪が「左」に、右に回すと前輪が「右」に曲がります。また、初心者の方でも操作できるよう、速度が速すぎて操縦が難しい場合は、コントローラーのスロットルリミッターを「SLOW」に切り替えてスピードを遅くしたり、転覆を防止する「ロールウィング」(同梱)をシャーシに取り付けて、転倒しても自力で起き上がりやすくすることも可能です。

ラジオコントロールバギー特有の「ジャンプ」や「フリップ」などの、カッコいい迫力あるアクロバティック走行は、いつの時代も多くの男性が興味を抱くアクションで、“男性の憧れ”となってきました。ギガテンは、低価格ながらも、ハイパフォーマンスな走行や技を踏襲し、高いエンターテインメント性を持つので、より多くの方に、より手軽にラジオコントロールバギーの楽しみや興奮を体験していただけます。親子で技の練習をしたり、大勢の友人と同時にレースやパフォーマンスを競ったり、小学生男児～40代男性まで幅広い世代の男性に向けてエンターテインメントをお届けいたします。また、ギガテンは日本以外にも、アジア・北米・ヨーロッパを中心とした海外でも発売予定となっており、グローバルに展開してまいります。

- 1: 最高到達点約85cmは、ギガテン専用のジャンプ台「ギガテン ジャンプステージ」(別売・1575円<税込>)を使用した場合になります。
- 2: 本商品は「半完成品」です。開封後、シャーシへのタイヤ・リアウィング・ロールウィング・ボディの取り付けが必要です。
- 3: デジタルプロポーション=コントローラーのスロットルトリガーの引き具合で「前進」の速度を調整することができます。

## 【商品概要】

商品名	: 『ギガテン バギーレーシングタイプ』 (第1弾全4色/レッド、ブルー、ブラック、パープル)
価格	: 各 5,229 円 (税抜価格 4,980 円 税 5%)
発売日	: 2010 年 10 月 2 日
セット内容	: シャーシ×1 個 ボディ×1 個 専用スロットル式コントローラー×1 個 リアウイング×1、ロールウイング×1、フロントタイヤ×2、リアタイヤ×2 専用充電器×1、面ファスナー×1、両面テープ×4、 ユーザーラベル(デコレーションシール)×1、取扱説明書×1
商品サイズ	: 本体 = (W) 70 x (H) 50 x (D) 105 mm コントローラー = (W) 85 x (H) 105 x (D) 55 mm 充電器 = (W) 70 x (H) 20 x (D) 110 mm
重量	: 本体 = 約 42g コントローラー = 約 65g 充電器 = 約 67g
バッテリー	: 充電式電池(シャーシ内蔵) 単 4 アルカリ乾電池 2 本(コントローラー用: 別売り) 単 3 アルカリ乾電池 4 本(充電器用: 別売り)
取扱い場所	: 全国の玩具専門店、百貨店・量販店の玩具売場 等
初年度目標	: 15 万個

『ギガテン バギーレーシングタイプ』公式ホームページ(アクロバティック走行の動画があります)  
<http://www.takaratomy.co.jp/products/gx/>



『ギガテン バギーレーシングタイプ』(ロールウイング装着)  
(第1弾全4色/レッド、ブルー、ブラック、パープル)



『ギガテン バギーレーシングタイプ (レッド)』



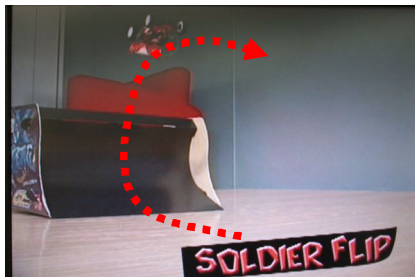
使用イメージ画像(合成画像)

< 報道各位から本件に関するお問い合わせ先 >  
株式会社タカラトミー 広報部 TEL 03-5654-1280 FAX 03-5654-1380

< 読者から商品に関するお問い合わせ先 >  
株式会社タカラトミー お客様相談室 TEL 03-5650-1031 <http://www.takaratomy.co.jp>

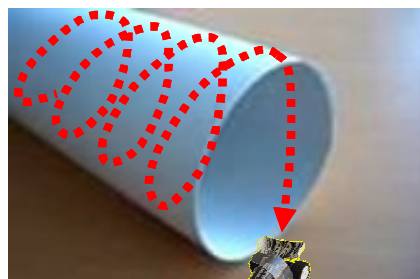
## 【参考資料】

### ギガテンのアクロバティック走行例



**バックフリップ・ハイジャンプ:**  
ジャンプ台を使って、バック転しながら  
バーを越えてハイジャンプ！

**ソルジャー・フリップ:**  
クォーターパイプを使って  
バックで宙返り！



**トルネード・ドライブ:**  
パイプなどの筒の中を高速で  
らせん状に走行！

**バケツ・トルネード:**  
バケツの底から内側を竜巻のように  
らせん走行で上り、バケツから脱出！

他にもギガテンのトリッキーなアクロバティック走行は無限大！？

**バックフリップ・ジャンプ:** ジャンプ台を越えながら、バックで宙返り！

**チップ・イン・バギー:** ジャンプ台からジャンプしてそのまま本棚などにうまくパーク！

**バケツ・アンド・パイプ・トルネード:** バケツにパイプを直結、竜巻のように駆け上って地上に着地！

**ドーム・ループ:** 空洞の球体の中を360°縦横無尽にループ走行！

**クォーター・パイプ:** まるでスノーボードのハーフパイプのように、急な勾配を上ったり降りたり！

**ロングパイプ・トルネード:** 約7mのロングなパイプも、竜巻のようにらせん走行で駆け上る！

こちらの走行の動画と操縦のコツは「ギガテン バギーレーシング」公式ホームページをご覧ください！

URL: <http://www.takaratomy.co.jp/products/gx/>

### 『ギガテン バギーレーシングタイプ』の開発について

#### ギガテン誕生までの経緯

『ギガテン バギーレーシングタイプ』の発案は2007年ごろ、開発者が本格的なラジオコントロールサーキットで、ラジオコントロールバギーカーの「ハイスピード」「ハイジャンプ」などのトリッキーな走行に魅了された時で、「このアクロバティック走行の迫力を、より多くの人に、実際操縦することで体験してもらいたい！」と思い開発に取り掛かりました。より多くの方にギガテンをラジオコントロールバギーカーの入門編として楽しんでいただくためには、「低価格」「操縦が簡単」「破損しにくい」というポイントが重要と考えました。開発にあたり一番の課題となったのは、「アクロバティック走行に伴う衝撃への耐久性」で、強度を強化する必要性がありました。しかし、強度を増せば増すだけ車体自体が重たくなり、スピードが遅くジャンプが高く飛べなくなり、肝心なラジオコントロールバギーカーの魅力が損なわれてしまいました。そこで「強度を増していくのではなく、車体重量を軽くして衝撃を少なくする」という発想に転換し、車体を少しでも軽くするために、車体の動力を乾電池でなく充電電池、ゴムタイヤでなくスポンジタイヤを採用しました。もう一つ、大きな課題となったのが、操作のレスポンスと送信距離です。アクロバティック走行を実現させる高速走行には、速いコントロール信号と長い送信距離が必要になります。そこで、従来、タカラトミーから発売していた無線操縦玩具（「Q ステア」「ヘリ Q」「ロボ Q」「エアロスパイダーシリーズ」など）で採用していた「赤外線仕様」から「電波（ラジオコントロール）仕様」に変更し、操作レスポンスと送信距離を大幅に向上しました。多くのラジオコントロールバギーカーが「電波27MHz」を採用している中、ギガテンは基盤の小さな「電波2.4GHz」を採用することで、小型軽量化・混線しにくい複数台での正確な走行・より長い電波送信距離を実現することができました。

#### 株式会社ヨコモとの共同開発

『ギガテン バギーレーシングタイプ』は、株式会社ヨコモと共同開発いたしました。株式会社ヨコモは、本格的な競技用ラジオコントロールカーの専門メーカーで、その製品は全日本選手権をはじめ、全米選手権、全欧選手権、そしてラジオコントロールカーレースの最高峰である世界選手権レースでも活躍しています。10回の世界チャンピオンに輝き、世界中のラジオコントロールファンに愛用されています。

株式会社ヨコモ公式ホームページ: <http://www.teamyokomo.com/jpn/>